

# 授業科目 健康管理概論

【担当教員名】 斎藤トシ子	対象学年	1	対象学科	健康
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

## 【一般目標：G I O】

個体レベルとしてだけでなく、集団レベルにける健康の概念を学ぶ。また、健康増進、疾病予防のポピュレーションアプローチに関する健康管理施策の基礎知識の修得を目標とする。

## 【行動目標：S B O】

1. 個人及び集団の健康の概念が理解できる。
2. 基本的な指標、保健統計を見て健康事象の分析ができる。
3. 健康の阻害要因が理解できる。
4. 日本及び諸外国の健康づくり施策、健康管理方法の基本が理解できる。
5. 特定集団の健康の問題点を分析し、それに対する健康管理の方法を考えることができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	健康の定義、健康の保持・増進の概念	1.	講義
2	個人の健康度の指標、体格の指標	2. 3.	講義
3	集団の健康度の指標	2.	講義
4	健康阻害要因、健康事象と生活（喫煙）要因との関係	3.	講義
5	健康事象と生活（飲酒）要因との関係	3.	講義
6	健康事象と生活（食事）要因との関係	3.	講義
7	健康事象と生活環境（運動、休養）要因との関係	3.	講義
8	海外及び日本の健康施策の流れ、理念	4.	講義
9	国、都道府県、市町村の衛生行政機構、健康増進施設の概要	4.	講義
10	地域、学校、職域の健康管理施策	4.	講義
11	スクリーニング検査の概念と評価方法	4.	講義
12	健康管理の方法、健康教育、健康相談	4.	講義
13	特定集団の健康及び生活（食事、運動、喫煙、飲酒）の現状を分析し、それに対する健康管理施策の具体的な方法を考える。	2. 5.	演習
14	特定集団の健康及び生活（食事、運動、喫煙、飲酒）の現状を分析し、それに対する健康管理施策の具体的な方法を考える。	2. 5.	演習

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	新・健康管理概論	田中平三	医歯薬出版	2002年 ¥2,300+税
参考書	予防医学のストラテジー	曾田研二	医学書院	1998年 ¥2,900+税
	保健統計・疫学	福富和夫	南山堂	1998年 ¥2,400+税
	国民衛生の動向		厚生統計協会	最新版
	国民栄養の現状	健康・栄養情報研究会	第一出版	最新版
	第六次改定日本人の栄養所要量	健康・栄養情報研究会	第一出版	1999年 ¥2,200+税
その他の資料	必要に応じてプリントを配布			

## 【評価方法】

出席状況、授業中の態度、定期試験から総合的に評価する。

## 【履修上の留意点】